「行きも、帰りもスマートにー」ETC 専用 桜島スマートインターチェンジ全方面開通

鹿児島県　姶良市　建設部　土木課

姶良市（あいらし）のご紹介

姶良市は、薩摩半島と大隅両半島の結節点、鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、南は県都鹿児島市、西に薩摩川内市、東に霧島市と隣接しています。北部は広大な森林を持ち、美しい里山が偏在、南東部は錦江湾に接し、桜島を遠望する風光明媚な海岸もあります。平成 22 年に「姶良町」「加治木町」「蒲生町」の 3 町が合併し「姶良市（あいらし）」となりました。近年、鹿児島市に隣接する便利で住みやすい街として、鹿

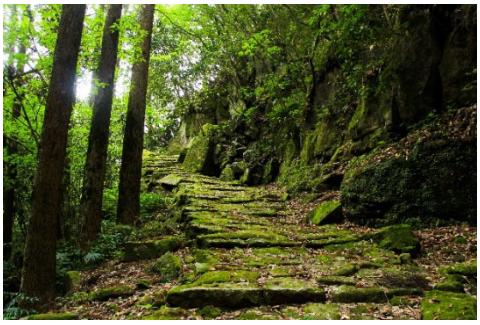
児島県において人口が増えている数少ないエリアとなっています。

温かく豊かな自然と人々の生活の活気あふれるまち。「姶良市」とはそんなまちです。豊かな自然、歴史遺産、伝統文化を活かしながら、これからの未来を創っていきます。令和２年に市制施行 10 周年を迎えた「姶良市」はまだまだ新しく大きな未来と可能性に満ちています。市民のみなさまとともに語り、考え、わかちあいながら「県央の良さを活かした県内一くらしやすいまちづくり」を目指していきます。

歴史遺産としては、例えば「姶良の三坂」と呼ばれる白銀坂、龍門司坂、掛橋坂には、いにしえの石畳が残り、先人たちの足跡が刻まれています。

また、「日本の滝百選」に選ばれた「龍門滝」はその豪快な姿を間近に見ることができます。

白銀坂



掛橋坂

龍門司坂

蒲生の大楠

龍門滝

重富海岸

はじめに

令和３年３月13日（土）に全方面開通した桜島スマートインターチェンジは、姶良インターチェンジから2.5km（加治木インターチェンジから6.2km）に位置する休憩施設接続型のスマートインターチェンジです。

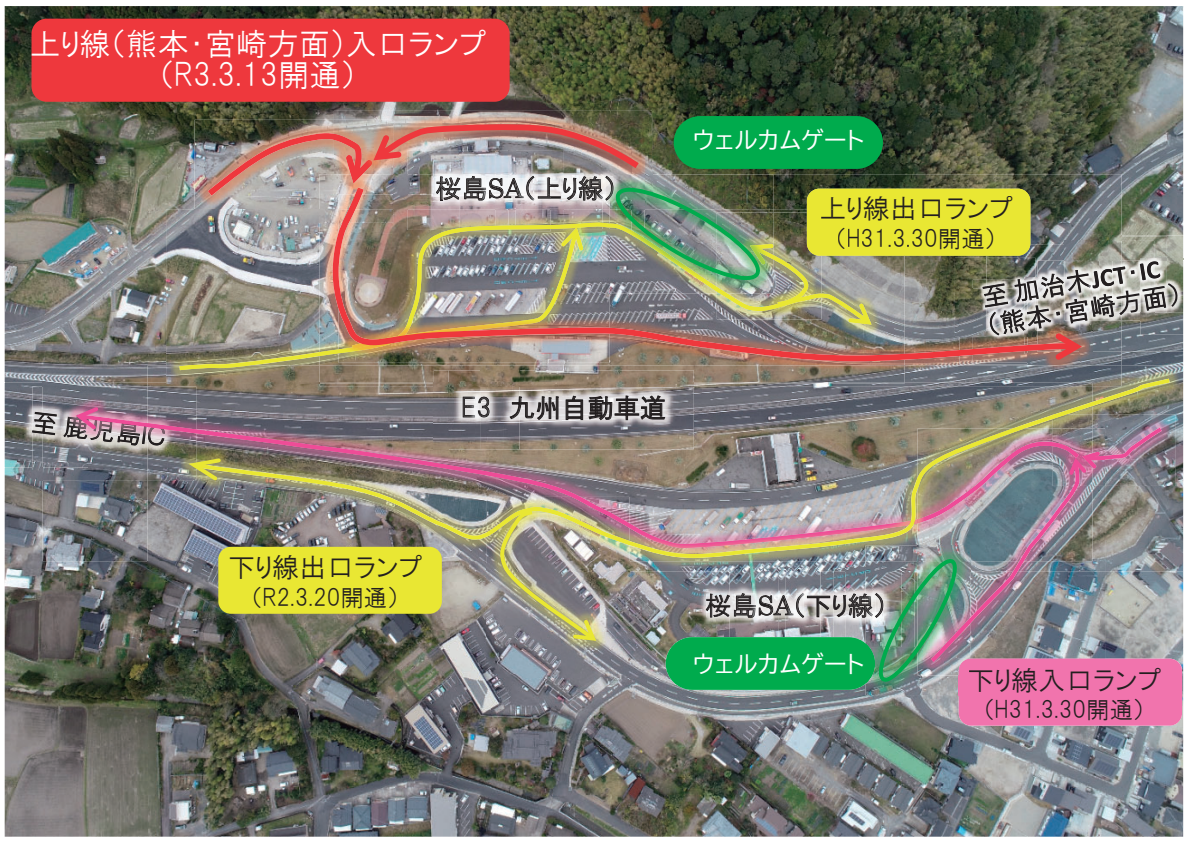
このスマートインターチェンジは姶良市の住宅密集地に近接し、桜島サービスエリアと高速道路（九州道）に並行する市道（鍋倉・触田線、サービスエリア線）に直結するインターチェンジとなっており、切り盛り土量の少ない施工となっています。

この桜島スマートインターチェンジの特徴は、サービスエリア入口付近から進入し、サービスエリア出口付近から退出するところです。

桜島サービスエリアは、県都鹿児島市に向けての最後のサービスエリアであり、同様に、県外へ向けての最初のサービスエリアでもあります。桜島スマートインターチェンジの利用者に「鹿児島に帰ってきたぞ」、「これから旅立つぞ」、と一息入れて安全運転に心掛けていただければと考えました。また、郷土の土産物も桜島サービスエリアに立ち寄っていただき、ご購入いただければと考えております。

姶良市において、インターチェンジ設置予定地の状況等、総合的に勘案し、現在のインターチェンジ形式を採用しました。

また、桜島サービスエリアを一般道からでも利用できるように設けた出入口（ウエルカムゲート）を整備し、ふれあいの場として地域の皆様も利用できますので、是非お立ち寄りください。（ネクスコ西日本により整備）



桜島サービスエリアについて

桜島スマートインターチェンジと接続する「桜島サービスエリア」は、鹿児島県唯一のサービスエリアであり、レストラン、売店、ドッグラン（上り線のみ）を完備し、鹿児島県の象徴である桜島の眺望に富んだ休憩施設となっております。

また、ウエルカムゲートを整備するなど、地域のふれあいの場としても期待されています。

レストラン（上り線）

レストラン（下り線）

ドッグラン（上り線のみ）

ウェルカムゲート（下り線）

スマートインターチェンジの整備について

1　桜島スマートインターチェンジ周辺地域の状況

始良市は、鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、県都鹿児島市や県内主要都市に隣接していることからベッドタウンとして発展し、桜島サービスエリア周辺に始良市の中心市街地、また大規模住宅地が拡がっている。また、始良市内を九州縦貫自動車道鹿児島線が通過するなど交通の利便性に優れているため、工業・物流団地も立地している。

しかしながら、始良市と鹿児島市を結ぶ幹線道路は国道 10 号一本に頼っているところである。災害や交通事故などによる通行止めが発生した場合に、通勤通学や物流など人や物の移動に大きな影響を与えることが考えられる。

さらに始良市の海岸部等は、平成 24 年 3 月に新たに誕生した「霧島錦江湾国立公園」区域に指定され、

今後の観光の発展に期待が寄せられている。

霧島錦江湾国立公園（重富海岸初日の出）

2　整備を必要とした理由

姶良市は、ベッドタウンとして発展してきたものの、平成 17 年以降人口が伸び悩んでいる。そのため、姶良市では、定住人口や交流人口を増加させることで、持続的な発展を目指している。

現在、桜島スマートインターチェンジに近接する姶良市中心市街地では、大規模住宅地開発が行われ、また、既存住宅地も桜島スマートインターチェンジ周辺に拡がっており、これらの住宅地のポテンシャルを高めるためには、県都鹿児島市に隣接した地理的優位性のみならず、交通利便性の向上が必要不可欠であった。

県都鹿児島市は、姶良市住民にとって、通勤通学、買い物などの日常的な結びつきの強い都市であるため、幹線道路である国道 10 号の渋滞や通行止めが発生した場合の高速道路へのアクセスの改善要望も住民から挙がっていた。国道 10 号の渋滞や通行止め時は、既存の高速インターチェンジへのアクセス道路にも交通が集中し、通学時の児童の安全性にも課題が生じている。さらに、自然災害の一つである津波から住民を守るためにも、緊急輸送道路として機能する高速道路へのアクセスポイントを、人口が集積する姶良市中心市街地に設けることが求められていた。

また、定住化に向けては、姶良市内での雇用の場の確保も重要である。桜島スマートインターチェンジに近接した平松物流団地では、造成工事が行われ分譲面積を拡大し、高速道路インターチェンジへのアクセス向上を図ることで、生産・物流拠点としての優位性が高まり、企業誘致が期待できる。

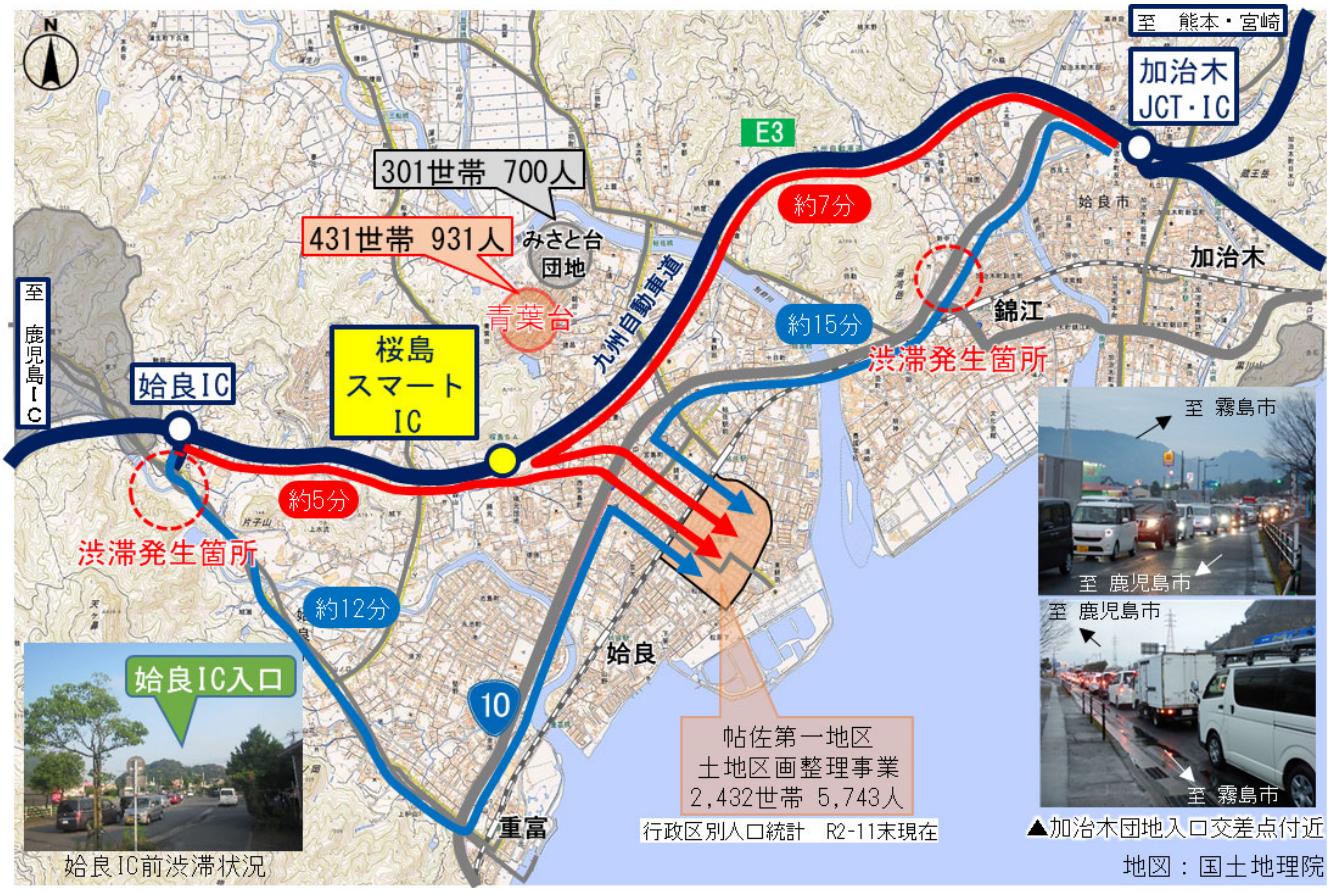
さらに、桜島スマートインターチェンジ周辺には、「霧島錦江湾国立公園」区域指定を受け整備された重富海岸など、新たな観光拠点があり、これら拠点へのアクセス向上を図ることで、交流人口の増加が期待される。

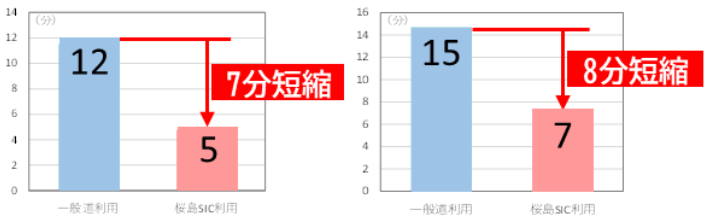
3　整備効果について

1．定住人口増加の支援

1）新たな住宅地へのアクセス向上

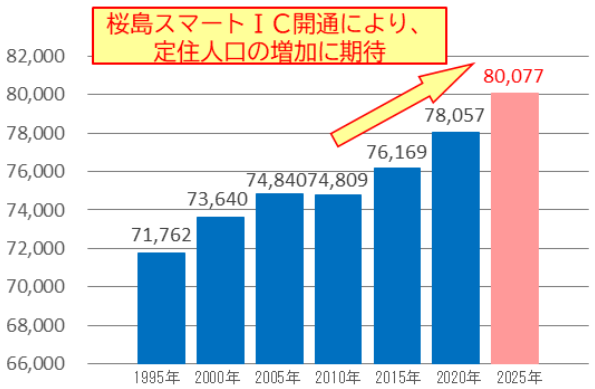
高速道路から住宅地へのアクセス向上が図られ、住宅地としてのポテンシャルが高まり、定住人口の増加が期待されます。





▲高速ＩＣから帖佐第一地区への所要時間
現道利用時と桜島スマートＩＣ経由との比較

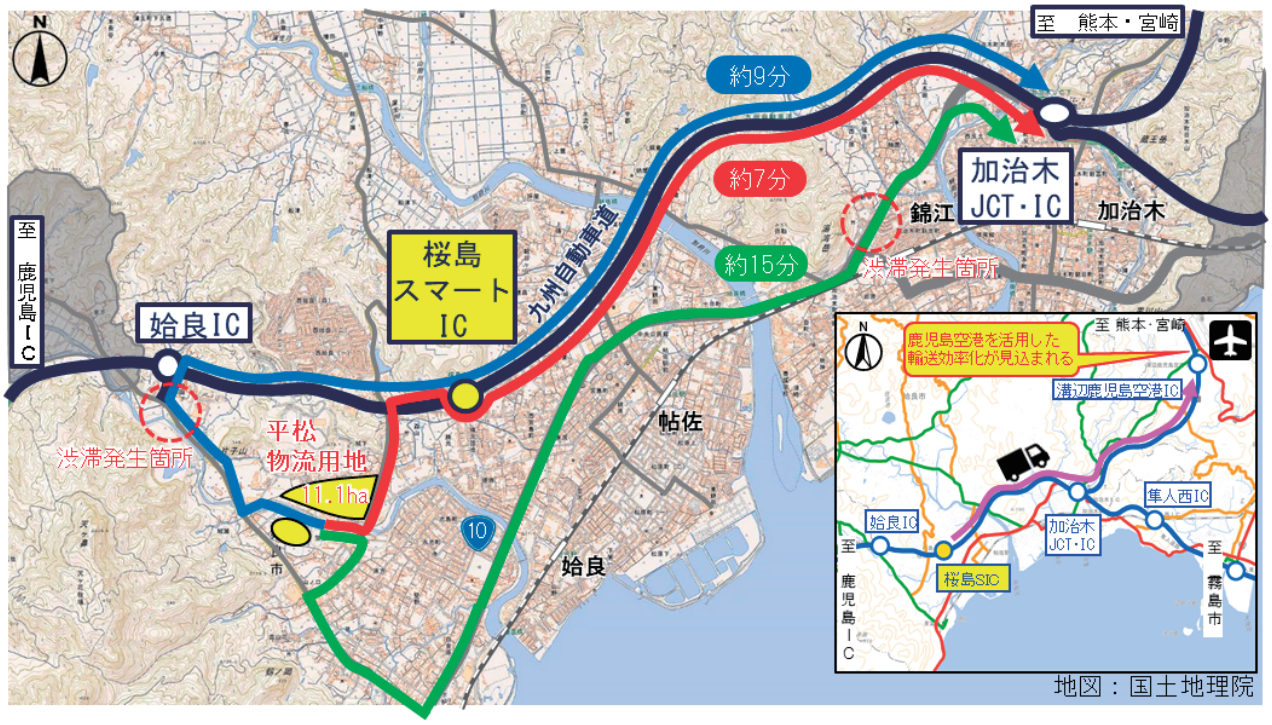
出典：H27全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）
[市道]上記調査の鹿児島県地方道計速度（混雑時）を用いて算出
※帖佐第一地区は、始良市松原町１～３丁目一帯の範囲です。

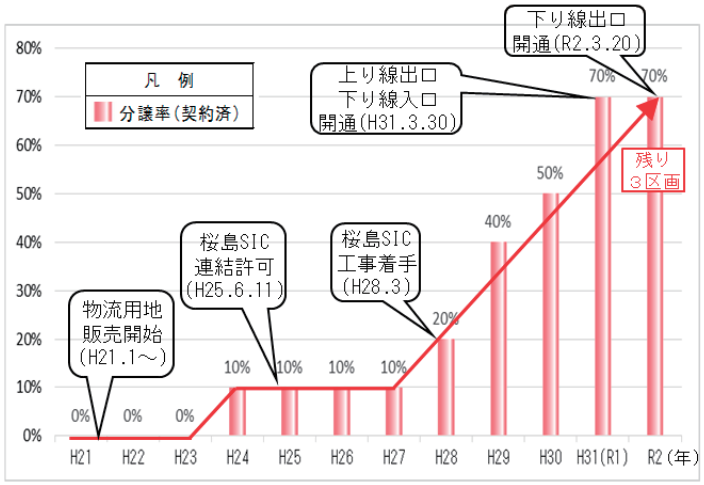


資料：始良市人口ビジョン（H28.2）

2）企業誘致の支援

始良市西部にある平松物流用地は大手自動車メーカー直営の整備工場や食品・物流などの企業が進出しています。桜島スマートインターチェンジの整備により、平松物流用地から加治木ジャンクション・インターチェンジまでの所要時間が改善することで、企業誘致が加速し、雇用創出や定住人口増加に寄与することが期待されます。

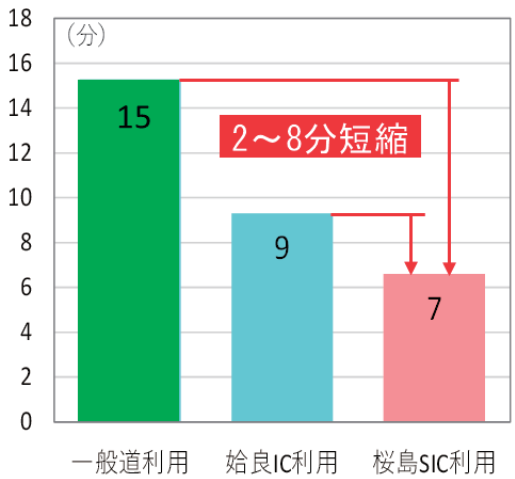




▲平松物流用地の分譲率

※分譲率は、総区画数に対する分譲済み区画の比率

資料：鹿児島県始良市役所　企画部　商工観光課　企業商工係
：始良市土地開発公社



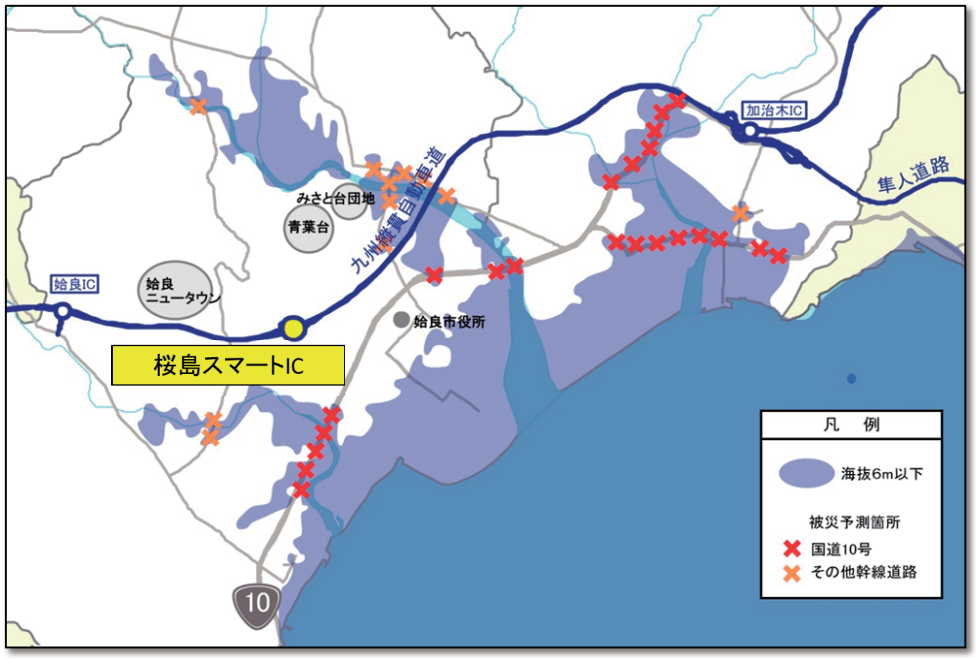
▲所要時間（平松物流団地→加治木IC）

出典：H27全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）
[市道]上記調査の鹿児島県地方道計速度（混雑時）を用いて算出

2．安全・安心な生活環境づくりの支援

1）津波災害時の緊急輸送道路の確保

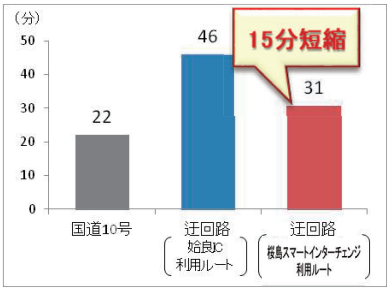
始良市沿岸では約 6m の津波被害が記録されており（安永噴火：1779 ～ 80）、同程度の津波発生時には、国道 10 号が被災し、交通が寸断されるリスクが存在しています。桜島スマートインターチェンジの整備により、緊急輸送道路からのアクセスが可能となり早期支援が期待されます。



2）リダンダンシー機能の向上

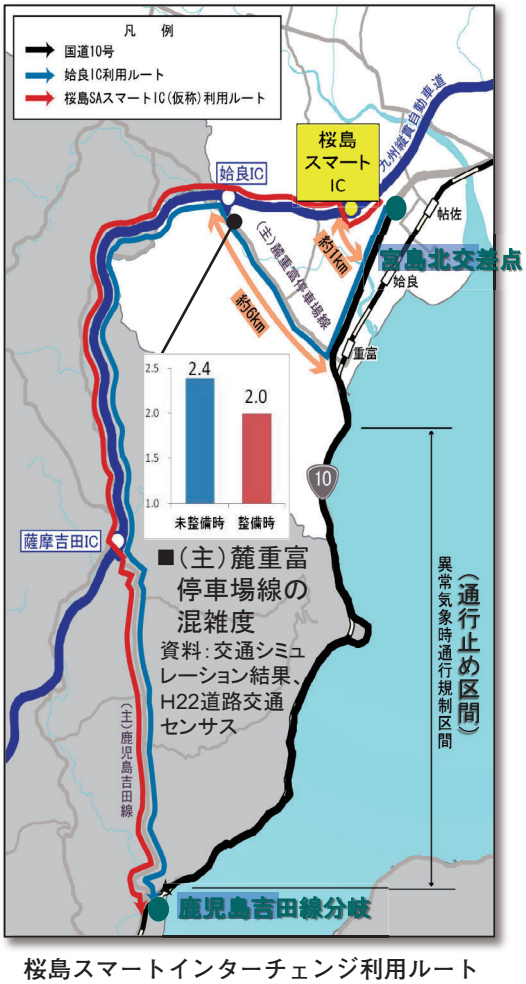
始良市と隣接する鹿児島市とは、通勤通学や買い物など日常的な交流が多いため、両都市間を連絡する国道 10 号は交流を支える上で非常に重要な路線であり、利用交通量は約 3 万台 / 日と多い。しかしながら、国道 10 号には「異常気象時通行規制区間」等が存在し、事前通行規制のみならず、土砂災害、高潮、交通事故等による通行規制が発生している。

桜島スマートインターチェンジが整備されたことにより、高速インターチェンジと国道 10 号が約 1km で結ばれることから、始良インターチェンジを利用した迂回時間に比べて 31 分と 15 分短縮できる。このように、桜島スマートインターチェンジの整備は、国道 10 号のリダンダンシー機能を向上させ、始良市民の安全・安心な生活環境づくりを支援している。



■国道10号通行止め時の迂回時間
（国道10号宮島北交差点～鹿児島吉田線分岐）

資料：民間プローブデータ　迂回路：H24.8.16_18時台/通行止め時
国道10号：H24.3～5_平日オフピーク時平均

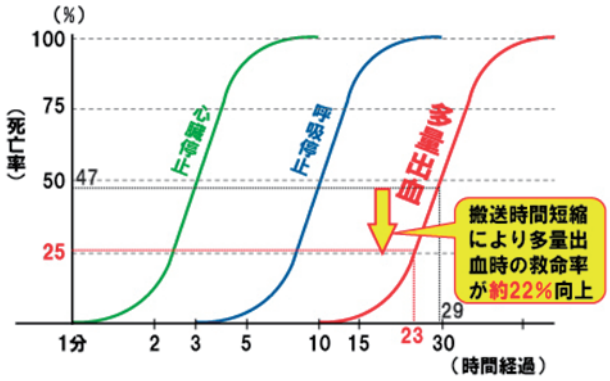


桜島スマートインターチェンジ利用ルート

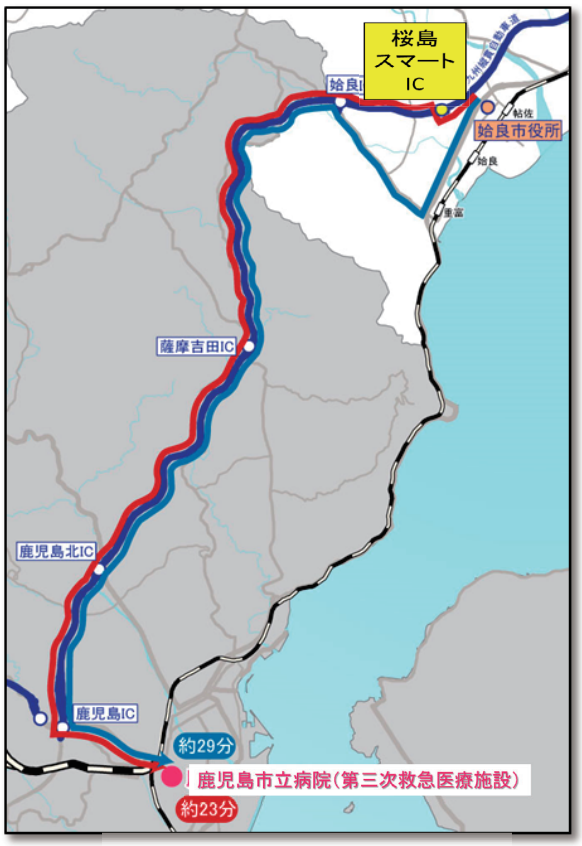
3）緊急搬送の支援

姶良市における緊急搬送件数は、年間約 3,000 件であり、そのうち約 3 割が姶良市外への搬送である。

現在、高速道路を利用して緊急搬送を行っている鹿児島大学病院、霧島市内の病院、鹿児島市立病院（第三次緊急医療施設）については、姶良市中心市街地に近接する桜島スマートインターチェンジが整備されたことで、当該地域からの搬送時間短縮が図られた。搬送時間の短縮により救命率も向上するため、姶良市住民の安全・安心な生活環境の向上が図られた。



多量出血時の救命率の変化



姶良市～鹿児島市立病院へのアクセス時間

※所要時間は規制速度を用いて算出

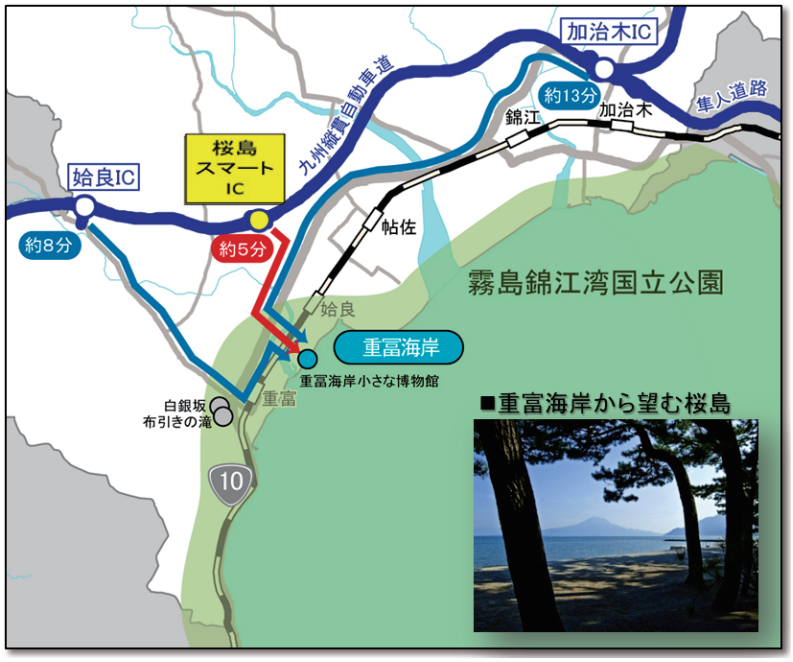
4）通学路の安全性向上

■重富小学校の通学路

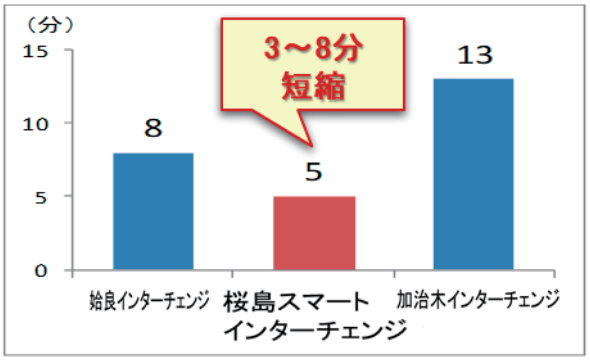
資料：重富小学校危険個所地図

3．交流人口増加の支援

1）霧島錦江湾国立公園へのアクセス向上



霧島錦江湾国立公園区域へのアクセスルート



高速インターチェンジから重富海岸（ビジターセンター）への所要時間

資料：H22 道路交通センサス

おわりに

令和 3 年 3 月 13 日（土）15 時に無事に全方面開通を迎えました。

ハーフ開通から 3 方向開通と 2 か年をかけての全方面開通でした。事業に長期間かかったことを利用者にお詫びするとともに、事業に多大なご協力をいただいた地権者及び工事関係者に心より感謝申し上げます。

桜島スマートインターチェンジ全方面開通 1 か月後の利用台数は、計画利用台数 2,000 台 / 日のところ約 3,000 台 / 日と順調な滑り出しとなったところです。

姶良市は、「第 2 次姶良市総合計画」において、計画の目標年次の前後である「2025 年に人口 8 万人を達成」を目標としています。

令和 2 年国勢調査において、本市は、平成 27 年から 1,175 人の人口増で、1.6％の増加率となっており、鹿児島県下で唯一の人口増の市となっています。

桜島スマートインターチェンジの事業効果は着実に現れてきているものと考えています。今後も西日本高速道路株式会社等の関係者をはじめ、地域の方々とも連携しながら利用促進に努め、安全・安心な生活環境の向上を図り、「2025 年に人口 8 万人を達成」を目標に取り組んでいきます。